

今後さらに飛躍する 市の創生を目指して



記念式典で
式辞を述べる
宮澤市長

市長 宮澤 宗弘

市民の皆さまをはじめ関係機関や各種団体の皆さまの多大なるご支援、ご協力を賜り、市制施行10周年を迎えられましたことに心より御礼申し上げます。

平成17年10月1日、歴代の町村長はじめ、議会や地域住民が勇気を持って英断し、「安曇野」を共有する3町2村が一つになり、県下でも類をみない新設合併の「安曇野市」が誕生しました。以来、初代平林市長からこれまで「五つの流れを一つに」の理念に基づき、日本一の市を目指し、市の一体感の醸成を図ってきました。この間、都市基盤整備や産業振興、住民福祉の向上などに努め、本年は、合併以来、最大の懸案でありました市のシンボル・市役所新本庁舎が完成し、また、一体感づくりに寄与する市歌の制定など、まさに歴史的な1ページを刻むことになりました。

輝かしい合併10年を契機に、さらに飛躍する安曇野市を創生していかなければなりません。将来都市像に掲げた「北アルプスに生まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」を目指し努力を重ねていきます。これまで以上に市民の皆さま、当市を訪れる大勢の皆さまから「安曇野に住んで良かった」、「住んでみたい」、「また訪れてみたい」と感じていただける、希望に満ちあふれたまちづくりを進めてまいります。



市内小中学校による金管バンド・吹奏楽部の演奏



市民まつり冒頭のパレード



10年後の安曇野市に向けてメッセージを寄せる来場者



市内4カ所から5艘のおふねが集い、市役所の周囲を曳行した



親子3人で参加しました。多くの皆さんと一緒に安曇野市10歳の誕生日を祝っているように感じました。娘はまだ幼いので、今日の事はいずれ忘れてしまうと思いますが、将来、大きくなっても誇りに思える地域であり続けてほしいと願っています。

市民まつり
第二の船出の時を迎えた安曇野市。市民まつり会場の市役所には、多くの皆さんが集いました。

10th ANNIVERSARY AZUMINO CITY



“大人気”ご当地キャラが会場に集結



好天に恵まれ、多くの皆さんが来場



飯沼信義さんの指揮に合わせ、市内小学生、コーラス団体の皆さんによる市歌の斉唱



作詞者保岡直樹さん（左上） 宮澤市長に楽譜を手渡す飯沼信義さん（右上） バリトン歌手太田直樹さんとピアノ伴奏中島加恵さんによる市歌の披露（右下）



安曇野市歌披露
新たに制定された市歌「水と緑と光の郷」が記念式典で初披露され、ふるさとの歌が誕生しました。

安曇野市歌の披露では、最初に市歌制定委員会委員長で市歌を作曲した飯沼信義さん（桐朋学園大学名誉教授・東京都）から宮澤市長に市歌「水と緑と光の郷」の楽譜が手渡されました。続いてバリトン歌手の太田直樹さんが中島加恵さんのピアノに合わせ独唱し市歌を披露。その後、市内6小学校の合唱部の児童、市内のコーラス団体の皆さん約230人が、飯沼さんの指揮に合わせて斉唱しました。

作詞者の保岡直樹さん（東京都）

新たな出発点へ 「市民まつり」開催

市制施行10周年を記念し、未来へ向けた新たな出発点となるイベントとして「市民まつり」が10月10日、市役所本庁舎周辺を会場に行われ、約3千人が来場しました。

当日は、県警音楽隊とカラーガード隊を先頭に警察・消防車両などが庁舎周辺をパレードしたほか、市内小中学校吹奏楽部の演奏や農産物や特産品の販売ブースなど多彩な催しが行われ、大勢の市民の皆さんがイベントを楽しみました。まつりの最後には市内4カ所のおふねの曳行も行われました。



式典出席者に配布された市歌のCD。楽譜は市ホームページから入手できます。